

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 16 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 青森県十和田市大字相坂字白上411

氏 名 経商事株式会社
代表取締役社長 小山田 美澄樹
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0176-22-3225

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	経商事株式会社			
事業場の所在地	青森県十和田市大字相坂字白上411			
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
当該事業場において現に行っている事業に関する事項				
① 事業の種類	06 総合工事業			
② 事業の規模	2,645,915千円 (令和6年3月～令和7年2月末における元請完成工事高)			
③ 従業員数	22人 (技術者としての役員含む)			
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場	コンクリートガラ	中間処理施設	--- 破碎・再生
		アスコンガラ	中間処理施設	--- 破碎・再生
		その他がれき類	中間処理施設	--- 埋立処分
		ガラス・陶磁器くず	中間処理施設	--- 埋立処分
		廃プラスチック類	中間処理施設	--- 焼却
		金属くず	中間処理施設	--- 破碎(再生・処分)
		混合(安定型)	中間処理施設	--- 埋立処分
		紙くず	中間処理施設	--- 焼却
		木くず	中間処理施設	--- 焼却
		繊維くず	中間処理施設	--- 焼却
		廃石膏ボード	中間処理施設	--- 破碎(埋立・焼却)
		混合(管理型)	中間処理施設	--- 埋立処分
		石綿含有(管理型)	中間処理施設	--- 埋立処分
		—— 委託契約した収集運搬業者 --- 委託契約した処分業者		

（日本産業規格 A列4番）

7.5.26

資循第

号

岩手県

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括管理者

 廃棄物管理担当者
 (現場代理人)

- ・産業廃棄物の収集運搬及び処分業者の選定
- ・収集運搬及び処分業者との委託契約
- ・委託業者の教育及び情報交換
- ・マニフェストの交付及び管理
- ・処理実績の記録及び保管
- ・監督官庁への報告等

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		別紙①	
	排出量			t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		別紙①	
	排出量			t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各作業所で発生した産業廃棄物は種類ごとに分別し、処理業者に委託する。 マニフェスト伝票で管理を徹底する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の量に関しては、受注工事の内容により増減があるので、今後の取り組みは、現状は同じとする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		別紙②	
	全処理委託量	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		別紙②	
	全処理委託量		t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 16 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 青森県十和田市大字相坂字白上411

氏 名 経商事株式会社
代表取締役社長 小山田 美澄樹

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0176-22-3225

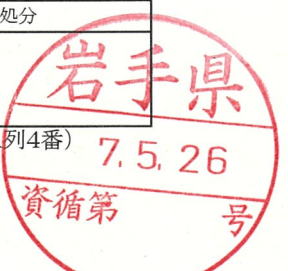
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	スーパードラックアサヒ久慈店解体工事
事業場の所在地	岩手県久慈市長内町30地割59
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合工事業			
② 事業の規模	2, 6 4 5, 9 1 5千円 (令和6年3月～令和7年2月末における元請完成工事高)			
③ 従業員数	22人 (技術者としての役員含む)			
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	工事現場	コンクリートガラ	中間処理施設	--- 破碎・再生
		アスコンガラ	中間処理施設	--- 破碎・再生
		その他がれき類	中間処理施設	--- 埋立処分
		ガラス・陶磁器くず	中間処理施設	--- 埋立処分
		廃プラスチック類	中間処理施設	--- 焼却
		金属くず	中間処理施設	--- 破碎(再生・処分)
		混合(安定型)	中間処理施設	--- 埋立処分
		紙くず	中間処理施設	--- 焼却
		木くず	中間処理施設	--- 焼却
		繊維くず	中間処理施設	--- 焼却
		廃石膏ボード	中間処理施設	--- 破碎(埋立・焼却)
		混合(管理型)	中間処理施設	--- 埋立処分
		石綿含有(管理型)	中間処理施設	--- 埋立処分
	<div>—— 委託契約した収集運搬業者</div> <div>--- 委託契約した処分業者</div> <div>岩手県</div>			

（日本産業規格 A列4番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括管理者

廃棄物管理担当者
(現場代理人)

- ・産業廃棄物の収集運搬及び処分業者の選定
- ・収集運搬及び処分業者との委託契約
- ・委託業者の教育及び情報交換
- ・マニフェストの交付及び管理
- ・処理実績の記録及び保管
- ・監督官庁への報告等

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙①
	排出量		t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙①
	排出量		t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各作業所で発生した産業廃棄物は種類ごとに分別し、処理業者に委託する。 マニフェスト伝票で管理を徹底する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の量に関しては、受注工事の内容により増減があるので、今後の取り組みは、現状は同じとする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙②
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙②
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスコンガラ	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	石綿含有（安定型）	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	石綿含有（管理型）	廃石綿等	廃アルカリ	合計
排出量	1246.590	100.520	32.910	9.800	49.610	0.000	0.000	12.230	0.000	0.170	0.790	0.000	21.820	1.410	0.000	0.000	280.500	1756.350

（これまでに実施した取組）

- ・発生した産業廃棄物について、収集運搬業者から処分に至るまで確認し、的確に管理している。
- ・工事現場ごとに、施工前会議にて協力業者に処分量の削減に努めるよう指導している。
- ・住宅建築現場では、使用する外壁材のレイアウト図を作成し、無駄な端材が出ないようにしている。

②計画 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスコンガラ	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	石綿含有（安定型）	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	石綿含有（管理型）	廃石綿等	廃アルカリ	合計
排出量	50.000	50.000	30.000	10.000	50.000	0.000	0.000	10.000	0.000	0.000	0.000	0.000	20.000	1.000	0.000	0.000	0.000	221.000

（今後実施する予定の取組）

- ・行政による、産業廃棄物に関連する法令、その他規則の説明会等への積極的参加。
- ・発生した産業廃棄物について、収集運搬業者から処分に至るまで確認し、的確に管理する。
- ・工事現場ごとに、施工前会議にて協力業者に処分量の削減に努めるよう指導する。

別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスコンガラ	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	石綿含有（安定型）	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	石綿含有（管理型）	廃石綿等	廃アルカリ	合計
全処理委託量	1246.59	100.52	32.91	9.80	49.61	0.00	0.00	12.23	0.00	0.17	0.79	0.00	21.82	1.41	0.00	0.00	280.50	1756.35
優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再生利用業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

（これまでに実施した取組）

- ・発生した産業廃棄物について、産業廃棄物処分許可証を受けた処理業者に委託している。

②計画 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスコンガラ	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	石綿含有（安定型）	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	石綿含有（管理型）	廃石綿等	廃アルカリ	合計
全処理委託量	50.00	50.00	30.00	10.00	50.00	0.00	0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00	1.00	0.00	0.00	0.00	221.00
優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再生利用業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

（今後実施する予定の取組）

- ・発生した産業廃棄物について、産業廃棄物処分許可証を受けた処理業者に委託する。
- ・委託契約時に、処分許可証が最新であるか（更新されているか）を再確認する。
- ・優良認定処理業者及び再生利用業者との委託契約を積極的に推進する。